

対象地域：長野県

再生課題：諏訪湖の水質改善



# す わ こ そ う せ い び じ ょ ん す い し ん か い き 諏訪湖創生ビジョン推進会議

## 再生 目標

人と生き物が共存し、誰もが訪れたいくなる諏訪湖

- ① 清らかで人々が親しむことができる湖水・湖辺
- ② 多種多様な生き物を育む湖
- ③ 人々が憩い、やすらげる水辺空間
- ④ 諏訪湖の恵みを知り、育つ学びの場

- 事務局  
長野県諏訪地域振興局  
企画振興課（総括）  
環境課（水環境保全）

- 対象地域  
長野県諏訪地域
- 活動開始：H30.4
- 活動計画：H30.3

(R4.2現在)



諏訪湖には、入江という意味の「エゴ」と呼ばれる水生植物が豊かな場所がありましたが、社会・経済活動の発展や人口の増加に伴い、水質汚濁の進行や富栄養化によるアオコの異常発生等が生じ、水質悪化が問題となりました。そこで、これまで、底泥の浚渫や流域下水道の整備、農地対策等を行い、水質の改善がみられてきたところです。一方、近年では、底層の貧酸素状態や水草であるヒシの大量繁茂、ワカサギの大量死といった問題も生じています。

本会議では、「人と生き物が共存し、誰もが訪れたいくなる諏訪湖」を目指して、63の団体や個人が協力し、水質改善を主とした湖の環境再生に取り組んでいます。

## 自然再生の手法

- ヒシ（水草）の除去
- 覆砂による底質の改善・酸素消費量の低減
- 湖岸域整備等による多様な生物が生息できる空間の創出
- 湖内の溶存酸素測定及び底質性状の調査
- 子ども向け冊子「諏訪湖読本」の作成

### ここに注目！

#### 除去したヒシの有効活用による地域循環

ヒシは、生態系や水質浄化で重要な役割を担っている一方で、大量に繁茂することで悪臭や底層の貧酸素の一因となるほか、景観・漁業の妨げにもなっています。そこで、ヒシを除去し、環境改善を図っています。除去したヒシは、有効活用するため、地元団体によって堆肥化し、農地等に還元しています。



ヒシの除去活動



ヒシ